

細胞農業オープンイノベーションプラットフォーム 「CulNet コンソーシアム」参画に関するお知らせ

ハウス食品グループ本社株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：浦上 博史、以下「ハウス食品グループ」）は、ハウス食品グループイノベーションファンドより2018年4月に出資したインテグリカルチャー株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：羽生 雄毅、以下「インテグリカルチャー」）が中心となり2021年4月1日付けで発足した、細胞農業オープンイノベーションプラットフォーム「CulNetコンソーシアム」に参画致しました。

【コンソーシアム型共同研究参加について】

ハウス食品グループは、「3つの責任」（お客様に対して、社員とその家族に対して、社会に対して）の全てに於いて「クオリティ企業」に変革して行くことを目指しております。その中で「社会に対して」の取り組みテーマの一つとして「循環型モデルの構築」を掲げ、CO2削減、廃棄物削減、持続可能な調達に取り組んでおります。

細胞培養関連分野の先進企業であるインテグリカルチャー、ならびに同コンソーシアム参加企業との共同研究を通じ、ハウス食品グループは、将来的なタンパク源不足の解決、循環型社会の形成に対して取り組んで参ります。

【「インテグリカルチャー」について】

企業概要

名称	インテグリカルチャー株式会社
所在地	東京都文京区本郷 4-1-3 7階
代表取締役	羽生 雄毅
設立年月日	2015年10月23日
事業内容	汎用大規模細胞培養システム“CulNet System TM ”を用いた有用成分、化粧品、食品、細胞培養肉の研究開発

インテグリカルチャーは、細胞培養技術によって作られた食品などの細胞農業製品を、消費者の手の届く価格帯で提供することで、持続可能なタンパク源を提供することを目指しています。独自開発の低コスト細胞培養技術“CulNet SystemTM”をバイオ領域の新たなプラットフォームとし、動物細胞で構成される食品、皮革をはじめ、様々な分野での活用を目指しています。

【「CulNetコンソーシアム」について】

インテグリカルチャーは2021年4月1日付けで、細胞農業のオープンイノベーションプラットフォーム「CulNetコンソーシアム」を発足しました。当該コンソーシアム型共同研究では、オープンイノベーションにより、培地、足場、装置など各領域の企業が参画し、業界の中で共同解決を目指し、将来的なサプライチェーンを含む供給システムを構築する事を目的としております。

ハウス食品グループは、将来的な細胞製品の加工や安全性基準を満たすためのプロセス管理要素の開発・規格化を目的として参画致します。

【インテグリカルチャー保有技術“CulNet SystemTM”について】

CulNet SystemTMは、動物体内での臓器間相互作用を模した環境を構築することで、細胞培養の高コスト原因であった成長因子の外部添加を不要としたインテグリカルチャー独自の汎用性の高い細胞培養プラットフォーム技術です。食肉に用いる細胞成分やコスメに使用可能なエキス成分、素材まで、様々な利用範囲をもつ成分を安価で大量に生産できます。

<https://integriculture.jp/technology/>

以上